

大島理森 自由民主党幹事長 挨拶

本日は989の町村の代表の皆さんがこうしてお集まりになっております。国土の4割を皆様方が担っているわけでございます。町村に住み、頑張っておられる皆さん、この日本という大地を、文化を守っておられる皆さん、まさにそういう方々の思いが、ここにあるそれぞれのスローガン、山本会長はじめ、意見発表をされたお三方の町長の思いに込められていると思います。

今、地方分権論が華やかでございます。基本は補完の原則です。何のために地方分権をやるのか。町、村、市は最も基礎的な自治体であるという位置づけの中で、財源なしの綺麗な言葉はもはやありません。従って皆さんの思いを我が党としてしっかり伺いつつ、これからあるべき地方自治の姿を、皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っております。

現在、残念な、あるいは心配なことがございます。2009年度補正予算見直しについて、例えば地方向け基金780億円の停止や、子育て応援特別手当の問題。また地域活性化・公共投資臨時交付金890億円の執行停止など、地域に安心と安全をつくり、地域を活性化させていくことが結果として喫緊の経済対策になるはずだと思ひ、私どもが議論を重ねてきたことが、停止・凍結されたことは残念であります。

鳩山政権がそれらをどのように使うのか、我々も注視したいと思ひますが、いずれにしても我々も長い間政権にいた反省と同時に、その知恵と力を使い、過疎対策法の対案をしっかりつくります。そして、ハードとソフト両面において立派な過疎対策法をつくり、来年の通常国会で政府と議論をし、お互いに意見が共通であったら、成案を得たいと思っております。

皆さんどうぞ、頑張ってください。私どもも全力を尽くして、基礎自治体の要である町村の住民の皆さんが夢と希望を持てる、そして努力が報われる仕組みをつくりたいと思っております。

平成二十一年十一月十八日

自由民主党幹事長 大島理森